



令和2年度 男女共同参画月間啓発イベント

「標語・川柳」コンクール

入賞作品を紹介します。



毎年10月は愛知県の定める男女共同参画月間です。本市ではこの月間にあわせて、男女共同参画の啓発を図ることを目的に、標語と川柳の募集を行いました。今年度は、一般の部に53点、中学生の部に277点、合計で330点の作品が集まりました。この中から、厳正なる審査の結果、一般の部から最優秀1点、優秀3点、入選5点、中学生の部から最優秀1点、優秀3点、入選10点を選出しました。

今号では、紙面スペースの関係から、最優秀作品と優秀作品を紹介させていただきます。

【選考委員全体講評】

今年度は世代を問わず、家事や子育てに関する作品を多くご応募いただきました。また、コロナ禍での生活を表現したものもありました。働き方改革の視点など、社会が大きく変わる予感がします。

ご覧になられた皆様が受賞作品からさまざまな視点や共感を得ることで、男女共同参画意識がより一層広がっていくことを期待いたします。

中学生の部



「手伝うよ。」その一言でつながる輪
(三上 美咲さん/青陵中)



立場変え、互いの苦勞 分かり合う
(松澤 愛紗さん/北部中)



誰だって泣いてもいいよ 我慢せず
(中山 結さん/南陽中)



家事育児 介護も仕事も 皆おなじ
(増田 彩花さん/牟呂中)

一般の部



子育ては 社会と会社 一体化
(鈴木 正子さん)



困ったら 相談できる 子育てを
(宇治橋 友美さん)



骨太の 日本を作る 男女共同
(原 芳夫さん)



家事習い 仕事の段取り 良くなった
(中村 晃和さん)

図書室のご案内

- 利用時間 午前9時～午後9時
- 貸出方法 利用者登録をしていただきます。身分の証明できるものを持参してください。
- 貸出期間等 一人3冊まで、2週間貸出します。返却は豊橋市役所1階の「じょうほうひろば」でもできます。



新着本

女性	『趣味とジェンダー—〈手づくり〉と〈自作〉の近代』 神野由紀、辻泉、飯田豊 女性と結び付けられる〈手づくり〉と、男性に割り当てられる〈自作〉をキーワードに、手づくり趣味の近代史を描き出す。
	『「労働」から学ぶジェンダー論—Society5.0でのライフスタイルを考える』 乙部由子 生活者の視点から女性の現状を分析し、近未来の家族像と働き方を展望する。
	『お砂糖とスパイスと爆発的な何か』 北村紗衣 フェミニズム批評とは、男女問わず世界の見方を何倍にも豊かにしてくれる超強力なツールであり武器なのだということを見せてくれる。
	『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください！』 上野千鶴子、田房永子 女の闘い方、夫婦の葛藤、母と娘、恋愛、セクハラ、おっさんの想像力、セックス、出産育児etc.、上野先生に7時間ぶっ通しで聞きました！
	『主婦をサラリーマンにたとえたら想像以上にヤバくなった件』 河内瞬 家事・育児などの主婦業は、サラリーマン時代の自分が想像するよりよほど大変だった。見るのとやるのでは、見える世界が全然違っていった。
	『炎上CMでよみとくジェンダー論』 瀬地山角 東大で大人気！名物講義の番外編 炎上する広告は4つのモデルに分けられる！
	『インスタントヘルプ 10代のためのジェンダークエストトレーニング』 ライラン・ジェイ・テスト、デボラ・クールハート、ジェミー・ペタ 性のアイデンティティ、その悩み・不安から心と体をヘルプするワーク。
	『さよなら、俺たち』 清田隆之 俺たちはこのままでいいのか。失恋、家事、性的同意、風俗、夫婦別姓、マンスプレイング、コロナ離婚etc.
	『女性たちの保守運動 右傾化する日本社会のジェンダー』 鈴木彩加 彼女たちはなぜ立ち上がるのか。活発化する保守運動に、ジェンダーの視点から迫る。
	『女性のいない民主主義』 前田健太郎 ”男性支配”脱却に挑む政治学
社会	『足をどかしてくれませんか。—メディアは女たちの声を届けているか』 林香里 編 男性中心に作られるジャーナリズムの「ふつう」は社会の実像とズレている。メディアが世界を映す鏡なら、女性の「ふつう」も映してほしい。女たちが考える〈みんな〉のためのジャーナリズム。
	『きれいな母を看取れますか？』 寺田和代 人生の優先順位で最初にあげるべきは、親ではなく、自分の人生。大切なのは、世間の常識でも評価でも、ましてや親の人生でもありません。
	『お父さんは認知症 父と娘の事件簿』 田中亜紀子 それは知らないうちの、静かに始まっていた。変わってしまった父。私は一体どうすれば！？
	『スクール・セクシュアル・ハラスメント—学校の中の性暴力—』 内海崎貴子、田中裕、亀井明子、藏原三雪、岡明秀忠 子どもへの「スクール・セクハラ」をなくし、安全・安心な学校を実現したい。その思いがここに結集した。
	『日本の家族と戸籍』 下夷美幸 戸籍の何が問題なのか。戦後、家族単位の戸籍制度が成立し、今もなお戸籍の制度と意識にふりまわされている。
	『ほめるのをやめよう リーダーシップの誤解』 岸見一郎 上司であることがつらい人に送る、部下と向き合う処方箋
	『地方議員は必要か』 NHKスペシャル取材班 前代未聞の大調査、知られざるホンネがここに！全国規模の取材でわかった地方議会の実態。
	『しくじりから学ぶ13歳からのスマホルール』 島袋コウ リアルな事例から学ぶ、ネットでしくじらないためのルールブック！
	『さらに あたりまえを疑え！』 遠藤野ゆり、大塚類 みんなやってるSNSをやめられない。親はふつう子どもを愛するもの。「みんな」って誰？「ふつう」って何？
	文化

文化	『面白いほどわかるクラシック入門』 松本大輔 クラシックの魅力に導く「世界でいちばんやさしい！14歳から大人までの入門書」。
生活	『暮らしやすい家づくり』 本多さおり 間取り&動線にこだわって家事も育児も、スイスイこなせる家が完成！
	『毎日、無理なく、機嫌良く。』 香菜子 穏やかに日々過ごす方法は、と〜ってもシンプル！
	『久松農園のおいしい12カ月』 角田菜穂子 食べることは生きること。人はおいしいものを食べて幸せになっていく。野菜畑と料理をめぐる1年の軌跡。
	『シニアのための なぜかワクワクする片づけの新常識』 古堅純子 がんばらずに一生散らからない暮らし。希望を呼び込む空間のつくりかた。
	『片づけ下手でも おしゃれな部屋って言われたい！』 オギャ子&ドキ子 あわよくば素敵主婦といわれたい！
	『おひとりさまの親と私の「終活」完全ガイド』 日経WOMAN別冊 親のこと、自分のこと、人生後半の頼れる仕組みづくり。
	『やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。』 梅田悟司 家事なんて無限にある。完璧じゃなくていいじゃないか！
	『自炊力』 白央篤司 面倒くさい？時間がない？料理がきらい？作らずに「買う」ことだって自炊です！
	『世界の郷土料理事典』 青木ゆり子 生世界各国・300地域 料理の作り方を通して知る歴史、文化、宗教の食規定。
	『47都道府県女ひとりで行ってみよう』 益田ミリ 観光地にも名産物にもこだわらない、「ただ行ってみるだけ」の旅。
健康	『なぜ、身近な関係ほどこじれやすいのか？』 森田汐生 親子、夫婦、きょうだい、友達、仕事仲間…近い人との会話がしんどいときのヒント。
文学	『御社のチャラ男』 絲山秋子 チャラ男って本当にどこにでもいるんです。一定の確率で。チャラ男は、なぜ、憎らしく、愛おしいのか？
	『女神のサラダ』 瀧羽麻子 人生で迷子になっているさまざまな世代の女性たちへ、そっと手渡したくなるような、滋味深い”お野菜小説”
	『なずな』 堀江敏幸 生命の瑞々しさに溢れた育児小説。第23回伊藤整文文学賞受賞作。
	『センセイの鞆』 川上弘美 高校の恩師と「私」のゆっくりとした日々。第37回谷崎潤一郎賞を受賞した名作。
	『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎 敵は、先入観。世界をひっくり返せ！「僕は、そうは、思わない。」
	『少年と犬』 馳星周 第163回直木賞受賞作。傷つき悩む人びとと、彼らに寄り添う犬を描く感涙作！
	『未知の鳥類がやって来るまで』 西崎憲 空想とは無限であるということを思い出させてくれる作品集。
	『恋愛未満』 篠田節子 日常のあらゆる所に存在し、恋愛に至るようで至らない、男女の微妙な繋がりを巧みに描いた5つの短編集。
	『花のベッドでひるねして』 よしもとばなな 歪んだ世界を、小さな村の平凡な営みが正してゆく。希望が芽吹く傑作小説。
	『遊覧日記』 武田百合子 ふと思立って遊びに出てゆく。そこで見たこと、体験したことをあるがまま、飾り気のない言葉で綴ったエッセイ集。
	『風と双眼鏡、膝掛け毛布』 梨木香歩 土地の記憶、人びとの思い、生きものたちの営み。地名から喚起され、想起された世界を描くエッセイ集。
	『エンド・オブ・ライフ』 エンド・オブ・ライフ 200名の患者を看取った看護師は、自らの死をどう受け入れたのか？在宅での終末医療を描くノンフィクション。
	『ワイルドサイドをほっつき歩け』 プレイディみかこ 恋と離婚、失業と抵抗…。絶望している暇はない。日常をゆるがす大問題、社会の変容を前に、右往左往しながら立ち上がる中高年を描いた、笑って泣けるエッセイ集。
	『ヤクザときどきピアノ』 鈴木智彦 譜面の読みかたも知らない52歳の挑戦。
	『死にゆく者からの手紙』 鈴木秀子 死にゆく人々との交流を通し、生とは死とはを問う。
	『下流の宴』 林真理子 息子の結婚でうちは「下流」になってしまうのか！？女のプライドと努力を描いた痛快小説。
	『女たちの避難所』 垣谷美雨 九死に一生を得て向かった避難所は男尊女卑に、やがて虐げられた女たちは静かに立ち上がる。
『スーベニア』 しまおまほ あなたがくれたもの。欲しくてもくれなかったもの。	

文学	『まだ温かい鍋を抱いておやすみ』 彩瀬まる 食を通して変わっていく人間関係、ほろ苦く、心に染み入る極上の食べものがたり。
	『またね家族』 松居大悟 父の余命は三カ月。何者にもなれなかった僕は—あなたの息子にはなれたのでしょうか。
	『サキの忘れ物』 津村記久子 たやすくはない日々に住る僥倖のような、まなざしあたたかな短編集。
	『持続可能な魂の利用』 松田青子 この国から「おじさん」が消える。女性アイドルに恋する三十女の熱情が日本の絶望を粉碎！
	『食王』 楡周平 商売人として最後の戦いを挑んだ男の常識破りの秘策とは？大逆転の経営戦略がここに！
	『そこにはいない男たちについて』 井上荒野 愛する夫を喪った女と、夫が大嫌いになった女。
	『健康以下、介護未満 親のトリセツ』 カータン 高齢な両親との付き合い方、教えます。
	『聡明な女は料理がうまい』 桐島洋子 料理こそ愛！自分の台所をもつすべての人へ。
『メイドの手帖』 ステファニー・ランド 己の内なる声を書き記すことで少しづつ希望を取り戻していった、あるシングルマザーの回想録。	

女性のための 相談室のご案内

電話による相談

○女性のための悩みごと電話相談

ちょっとした不安や切実な悩みごとなど、お気軽にお電話ください。

- ・毎週月～土曜日 午前9時～午後3時
- ・TEL (0532) 33-3098

※日曜日・祝休日・第3月曜日（第3月曜日が祝日に当たるときはその翌日も）は、お休みです。

面談による相談

○女性のための悩みごと面接相談（予約制）

時 間：午後1時30分・2時40分
（1人約60分）

相 談 日	予約受付開始日
12月11日（金）	12月 1日（火）
1月 8日（金）	1月 4日（月）
1月22日（金）	//
2月12日（金）	2月 1日（月）
2月26日（金）	//
3月12日（金）	3月 1日（月）
3月26日（金）	//

○女性弁護士による法律相談（予約制）

時 間：午後1時30分～3時30分
（1人約30分）

相 談 日	予約受付開始日
1月15日（金）	1月 4日（月）
3月19日（金）	3月 1日（月）



■予約の受付・問合せ

「面接相談」及び「法律相談」は、予約受付開始日以降の毎日午前9時～午後3時の間に男女共同参画センター（☎33-2822）まで。ただし、日曜日・祝休日・第3月曜日（第3月曜日が祝日に当たるときはその翌日も）はお休みです。

○再就職にむけた相談（予約制）

時 間：午前9時30分・10時30分・11時30分（1日3人）

相 談 日	予 約 先
12月 9日（水）	(株)トラスト ☎0800-111-3140
1月13日（水）	
2月10日（水）	
2月24日（水）	
3月10日（水）	

※相談日程は、変更することがあります。
該当月の「広報とよはし」でご確認下さい。

パルモ通信 No.28
[発行] 男女共同参画センター「パルモ」
〒441-8075 豊橋市神野ふ頭町3-22
TEL (0532) 33-2822